

# 学会の歩みを振り返る ～ 15 周年記念シンポジウムに向けて～

日時：9月7日（土） 16：45～17：15  
会場：学習院大学 3階302教室

学会は設立15周年を迎えた。教育・研究機関、地域、企業や行政など様々な領域で、キャリア・デザインに関わって研究、実践を積み重ねている多様な会員が集う特色ある学会として、理論と実践の創造的な相互作用と、多様な研究領域間での創造的な相互作用を生み出す活動を行ってきた。また、会員数も1000名を超える団体となり、社会的信用を高め、会員や社会に対しさらに有意義な活動を推進していくために、この15周年を機に一般社団法人へ移行することになった。

今、働くことを取り巻く環境や人々の営み、働き方、意識など社会が大きく変化・多様化している中で、これまでの歩みを振り返り、多様な人材の集う学会として、再び、キャリアデザインを多面的に問い直し、未知なるものとの出会いと新たな構築に向かっていくことが求められる。

本プログラムでは、10周年記念大会以降の活動を中心に、皆様に、学会の15年の歩みや各種活動の内容を楽しくわかりやすく紹介するとともに、新たなキャリアデザインの構築に向けた翌日の記念シンポジウムのご紹介を行う。

## 15周年記念シンポジウム

### 計画・偶発 未知との出会い ～今改めて自律とキャリアデザインを考える～

日時:2019年9月8日(日) 12:30～15:00

会場:学習院大学 創立百周年記念会館

本学会は、キャリア、キャリアデザインに関して、さまざまな分野にわたる研究者が枠を超え問題意識を共有して研究をし、深い知見を示しうるキャリアデザイン学の構築を図る「研究としての創造的相互作用」と、家庭や地域、教育の現場や企業、行政やNPOなど様々な機会にキャリアデザインに関わって行動している実務家が、その実務の場で得られた知見を、上記のような深い知的活動で検証、理論化し、また、先端の理論を学んで、現場で実証し生かすという「理論と実践との創造的相互作用」とを目指して活動を続けてきた。そして本年度で15周年を迎えた。

今、技術の進歩、グローバル化、産業構造や企業経営の変化、少子化・長寿化の進展、等キャリアを取り巻く環境はさらに一層広範囲に、急激に変化しつつあり、その中で個々人の生き方、働き方も、待たなしの変化が求められている。しかも、「未知との遭遇」といえるほどかつてない変化の広がりの中で、これまでの延長線上でないキャリアデザインを模索する時代になっている。こうした時代に、一人ひとりが、如何に未知なるものと主体的に出会いながら生き活きとキャリアを紡いで長い人生を送っていくことができるのか。他者、地域、社会を巻き込み、働きかけ、変えていくことができるのか。そうした個人に対し伴走者、あるいは支援者としてどう関わるのか。

キャリア研究においては、これまで、自律とは何か、デザインの限界と偶発性、計画的偶発性などをめぐる議論が行われてきた。今回のシンポジウムでは、今、改めて、キャリアをどうデザインしていくのか、計画と偶発という言葉の意味も含め、また、自律とは何なのかも含め問い直しつつ、変化に押しつぶされない幸せな個人のキャリア、地域社会の在りようとそのへの関わりの仕方について考えるきっかけを提供して、個々人が、あるいは協働して皆でこれからやっていくべきことを探っていきたい。

15周年記念事業委員会委員長 末廣啓子(目白大学)〈挨拶〉

モデレーター:梅崎修(法政大学)〈本企画意図の説明〉

○登壇者:

田中元子氏(株式会社グランドレベル・代表取締役社長)

山田 理 氏(株式会社サイボウズ取締役副社長 兼 グローバル事業本部長兼 kintone Corporation CEO (サイボウズUSA 社長)

宇野重規 氏(東京大学社会科学研究所教授)